

事業報告書等提出書

2021 年 9 月 日

(提出先)  
横浜市長

提出者 主たる事務所の所在地 横浜市中区相生町三丁目 61 番地 泰生ビル2F  
法人の名称 特定非営利活動法人 まちづくりエージェント SIDE BEACH CITY.  
代表者の氏名 山口 良介 ㊞  
電話番号 050-5372-8930

特定非営利活動促進法第 29 条の規定により、次に掲げる前事業年度(令和 2 年 7 月 1 日から令和 3 年 6 月 30 日まで)の事業報告書等を提出します。

- 1 前事業年度の事業報告書
- 2 前事業年度の活動計算書
- 3 前事業年度の貸借対照表
- 4 前事業年度の財産目録
- 5 前事業年度の年間役員名簿
- 6 前事業年度の末日における社員のうち 10 人以上の者の氏名(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)及び住所又は居所を記載した書面

(A4)

# 2020（令和2年）年度事業報告書

2020（令和2）年7月1日～2021（令和3）年6月30日

法人の名称 特定非営利活動法人 まちづくりエージェンツ SIDE BEACH CITY.

## 1 事業の成果

2020年7月から始まった今年度は、まさに私たちの主たる活動場所である横浜市、いや、日本、いや、世界中を大混乱に陥れた新型コロナウイルスによる行動制限と「新しい生活様式」への対応、それに伴う様々な課題を露呈させた1年となりました。

それと同時に、設立当初から当法人が取り組んでまいりました「①情報技術の活用支援に関する事業」が、正に求められた1年でもありました。「横浜市自治会町内会新しい活動スタイル応援事業」を皮切りに横浜各区、ケアプラザ、市民活動支援センターなどから、講座の依頼が複数あり、一時は対応が逼迫する状況になるほどの特需となりました。

ICT支援に関しては、他団体のオンライン配信、オンライン講座開催支援も積極的に行い、団体内部の勉強会のような小さな規模から、参加者が全国に及ぶ数百人規模のオンラインイベントまでサポートいたしました。

自主事業でもオンラインイベントの定例化を進めて、以前から行っている「SBCast.（音声メディア配信事業）」に加え、YouTube ライブ、Facebook ライブを使った「SBC. オープンマイク」もスタートさせました。特に SBCast. は、コミュニティ活動をする団体の実録的なアーカイブとして50配信を超えました。

市民活動や地域課題解決を目指す団体を支援する中間支援事業では、他団体が「横浜市 SDGs biz サポート補助金」を受けてコロナ禍でのサステナビリティを見据えた事業を企画・展開し、当法人は依頼を受け、サポートを行いました。ポータルサイトの作成・データベース構築、動画配信を積極的に行いました。当法人メンバーが実施した講座を受けた方から、これらを拝聴したというお声もいただき、ICTを用いた市民活動活性化に一定の成果を上げた実感できました。

個人、団体、企業、横浜市、各区との相互連携もさらに広がりを見せ、昨年度に引き続き、「東京大学 ICT グリーンプロジェクト」へのオブザーバー参加、「NPO 法人元気になろう福島」「NPO 法人福島台湾経済文化協会」による福島復興支援に加え、「One Smile Foundation」への参画、一般企業との複数連携など、まさに産学官民一体となって複雑化する課題に対応する体制を整えつつあります。さらに、地域活性化とICT支援、中間支援という複合要素の大きい、「Code for HODOGAYA」（Code for JAPAN のブリゲート）の立ち上げを支援し、代表は当法人の副理事が兼任しております。

地域交流活性化事業に関しては、横浜市緑区に「まちなかbizみどり（地域起業支援型バーチャルオフィス）」の会員となり、利用を開始しました。横浜市北部の交流拠点として活用・サポートしていきます。新型コロナウイルスにより、地域交流拠点をイベントや講座などでサポートする事業は減少傾向ですが、小規模でメンバーを制限することにより、十分なコロナ対策をした上で内容を充実させ、オンラインも併用し実施していく予定です。

当方人は、令和3年8月末時点で、正会員16名・8団体、賛助会員11名・5団体、登録エージェント73名となりました。エージェントとは、専門性を活かし、課題解決のために登録されているプロボノのようなメンバーです。メンバーも非常に多様性が増し、まさにSDGsで重きが置かれている「ダイバーシティ」が、内部自然的に発生する状況が整いつつあります。これらの人材、スキルを活かして、次年度以降も新型コロナウイルス対策をしつつ、市民活動・地域活動に複数事業展開をしております。

## 2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

### ①情報技術の活用支援に関する事業

【受託事業】横浜市市民局地域活動推進課より受託

・内 容：「横浜市自治会町内会新しい活動スタイル応援事業」は、コロナ禍による「新しい生活様式」の中にあっても、地域の絆をつなぎ自治会町内会活動を継続していくため、ICTの活用をサポートする出張講座を希望する自治体を実施していく事業です。令和2年10月から開始し、年度内に終わる予定でしたが、緊急事態宣言で延期、令和3年度も継続して実施しています。当法人では6地区を担当し、現在も継続して講座を実施しています。

- ・日 時：令和2年12月～令和3年度。各自治会と日時を調整し随時実施。
- ・場 所：各自治会が指定する場所
- ・従事者人員：4人
- ・受益対象者：自治会長を中心とした受講希望者 各回5人～20人程度で11回実施
- ・支 出 額：488,328円

【協働事業】オンライン配信サポート事業

・内 容：地域団体、法人などのオンラインコンテンツ配信・オンライン講座の開催を運営面、技術面など含めトータルでサポートしました。数十人規模の勉強会から、数百人規模の研修会など、様々な規模に対し、的確なオンライン配信システムの選定などを行い、事業者と一体となって多面的な支援を実施。また、依頼によりオンライン配信コンテンツの企画・提供も行いました。

- ・日 時：各事業者と日時を調整し随時実施。
- ・場 所：各事業者が指定する場所
- ・従事者人員：2人
- ・受益対象者：ネット上不特定多数の方々及び事業者に関係するの方々（延1000人以上）
- ・支 出 額：827,156円

【自主事業】オンラインコンテンツ配信事業

「SBC. オープンマイク (YouTube・Facebook ライブ番組配信事業)」

・内 容：SBC.に関わるの方々・Code for Japan ブリゲイドなどの地域事業に関わるの方々の活動をご紹介するYouTube・Facebook ライブ番組を配信します。毎月2回、個人または団体に関わるの方々をお招きし、現在の活動や今後に向けた想いを伺います。また、その会話の中から、SBC.との繋がりを広げています。

- ・日 時：毎月2回放送。曜日・時刻はゲストの方々の都合にあわせて変動
- ・場 所：オンライン
- ・従事者人員：2人

- ・受益対象者：ネット上不特定多数の方々 聴取者 735 人

「SBCast. (ポッドキャスト配信事業)」

- ・内 容：地域活動・コミュニティ活動を紹介するポッドキャスト番組を放送。毎月 2 団体の方をお招きし、活動内容や活動に至った経緯、ご自身の想いについてのインタビューを実施します。そのインタビュー内容を編集し、まとめの音声を追加したものをポッドキャストとして配信しました。
- ・日 時：毎月 2 回(第 2、第 4 金曜日 17 時)放送 収録は不定期
- ・場 所：オンライン
- ・従事者人員：1 人
- ・受益対象者：ネット上不特定多数の方々 聴取者 845 人
- ・支 出 額：159,554 円 (SBC. オープンマイクと SBCast. を合わせた額)

【協働事業】ホームページ運営サポート事業

- ・内 容：団体または法人のホームページに関する技術面及び運営面でのサポートを複数実施しました。地域貢献及び社会課題の解決のためのコンテンツ作成や、広報のための支援、SNS 運用などもトータルで実施しました。
- ・日 時：各事業者と日時を調整し随時実施。
- ・場 所：各事業者が指定する場所
- ・従事者人員：2 人
- ・受益対象者：ネット上不特定多数の方々及び事業者に関係するの方々。
- ・支 出 額：780,327 円

【協働・自主事業】ICT 活用講座・プログラミング講座の実施

- ・内 容：市民(団体含む)を対象とし、IT 化・IT の活用などに関するパソコン講座や、プログラミング講座、スマートフォン講座などを開催する活動です。依頼されて開催する場合と自主的に開催する場合とあり、オンライン開催も含まれます。
- ・日 時：年間を通して不定期実施 計 15 回実施
- ・場 所：横浜市内の公共施設・貸会議室・地域のコミュニティ施設・依頼事業者の指定場所など。
- ・従事者人員：3 人
- ・受益対象者：一般市民・及び団体延 50 人・オンライン延 500 人
- ・支 出 額：93,024 円

■①情報技術の活用支援に関する事業の総支出額：2,348,389 円

-----  
②地域における社会的課題の解決に関する事業

ア 地域交流に関する事業

【協働・自主事業】地域活性交流会の開催支援

- ・内 容：地域における社会的課題の情報を共有する機会提供、地域課題を解決するコミュニティ拠点を支援する事業。拠点から依頼されて実施する場合と、自主的に当法人が実施する場合がありますが、コロナ禍により回数は減少傾向です。
- ・日 時：不定期 計 5 回実施

- ・場 所：横浜市内のコミュニティカフェ・各団体の活動拠点、公的施設など。
- ・従事者人員：3人
- ・受益対象者：一般市民 延 50人
- ・支 出 額：183,240円

【協働事業】地域起業拠点支援事業

- ・内 容：横浜市緑区にできた地域型ビジネスサポート拠点「まちなかbizみどり」の会員となり、講座開催や交流のサポートを実施しています。当団体の北部拠点としても活用しており、元となっている「まちなかbizあおば」との連携も深め、横浜市北部の地域起業家を増やすことにより街の活性化に寄与しています。
- ・日 時：令和2年7月～随時
- ・場 所：横浜市緑区「まちなかbizみどり」
- ・従事者人員：2人
- ・受益対象者：横浜市緑区・青葉区を中心とした不特定多数の方々延 300人
- ・支 出 額：441,680円

【自主事業】SBC.Shop (SIDE BEACH COMMERCE)

- ・内 容：地域を支援するグッズを販売するプラットフォームとして、EC（通信販売）サイト、SBC.Shopを運営しています。横浜18区ブランディングプロジェクト（主に18区Tシャツ）の周知と、地域のためになるもの、地域を盛り上げるもの、地域課題を解決するものを基準として商品をセレクト、販売しています。
- ・日 時：随時
- ・場 所：オンライン
- ・従事者人員：1人
- ・受益対象者：不特定多数延数百人
- ・支 出 額：20,122円

■ア地域交流に関する事業の総支出額 645,042円

イ 社会的課題解決のための中間支援に関する事業

【協働事業】特定非営利活動法人元気になるう福島との協働事業

- ・内 容：特定非営利活動法人元気になるう福島が、「令和2年度 地域経済産業活性化対策費補助金（地域の伝統・魅力等発信支援事業）」の補助を受けて、福島復興と、海外（主に台湾）への風評被害払拭を目的に実施された事業です。台湾の若者が福島被災地を訪問、第一原発などを見学しライブ情報を発信しました。また台湾でも福島の日本酒を味わうイベントが開催され、当法人はホームページやSNSにおける情報発信のサポートをさせていただきました。
- ・日 時：令和2年10月～12月
- ・場 所：日本橋ふくしま館 MIDETTE・福島県内各所
- ・従事者人員：3人
- ・受益対象者：福島県の方々、オンライン上の不特定多数・台湾の方々延 1500人
- ・支 出 額：2,024,550円

【協働事業】SDGs推進支援事業

- ・内 容：東京都の中学校に通う中学生の課外授業の一環として、SDGsを実践する企業訪問

を受けました。昨年度より「Zasso! Fes (緑化推進啓蒙イベント)」などを開催する「grobe 株式会社」に協力依頼をし、中学生が興味を引く内容でSDGsを身近に理解してもらいました。また、同社が「SDGs biz サポート補助金」の補助を受けて、「Go Out 横浜 (コロナ禍で持続可能な活動の情報提供支援サイト)」のデータベース構築とサイト運営をサポートしました。

- ・日 時：令和2年10月～令和3年3月 (継続実施随時)
- ・場 所：当団体指定の場所、及びインターネット上
- ・従事者人員：5人
- ・受益対象者：中学生20名・インターネット上の不特定多数の方々延数千人
- ・支 出 額：2,061,817円

#### 【協働事業】Code for HODOGAYA

・内 容：Code for Hodogayaは、当方人事業部とエージェントとの連携協働事業として結成され、Code for Japanブリゲードの構成団体としても加盟しました。COG 2020に登壇すると同時に保土ヶ谷区内でキックオフを開催しました。COGとは、東京大学公共政策大学院主催の市民参加型・地域課題解決アイデアコンテストです。今回はセミファイナリストとして出場し、見事銀賞を受賞することができました。その他、自主勉強会を毎月開催し、バーチャル空間上にコミュニティスペースを2つ開発し、そのうちの1つはスタートアップ企業と協働開発させて頂きました。

- ・日 時：令和2年1月より複数回開催
- ・場 所：都内会議室・オンライン上など
- ・従事者人員：2人
- ・受益対象者：インターネット上不特定多数の方々延数百人
- ・支 出 額：53,324円

#### 【自主事業】オープンデータに関する事業

・内 容：社会的課題の解決のための活動を行っている市民及び団体を対象とした中間支援及び社会的課題解決に関するオープンデータの活用に関するプラットフォーム(ウェブサイト等)の運用を行っています。また、それらに関わる方々の情報配信事業や交流イベント・勉強会などのサポートも行いました。

- ・日 時：随時
- ・場 所：インターネット上
- ・従事者人員：3人
- ・受益対象者：インターネット上不特定多数の方々延数百人
- ・支 出 額：98,206円

■イ社会的課題解決のための中間支援に関する事業の総支出額：4,237,897円

以上

# 活動計算書

令和2年7月1日から令和3年6月30日まで

法人の名称 特定非営利活動法人 まちづくりエージェント SIDE BEACH CITY.

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	300,000	
賛助会員受取会費	47,000	
受取会費小計		347,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	0	
受取寄附金小計		0
3. 受取助成金等	0	
受取助成金等小計		0
4. 事業収益		
①情報技術の活用支援に関する事業	1,963,514	
②地域の社会的課題解決に関する事業		
ア 地域交流に関する事業	303,068	
イ 社会的課題解決の中間支援事業	3,918,040	
事業収益小計		6,184,622
5. その他収益		
受取利息	7	
雑収益	1,291,816	
その他収益小計		1,291,823
経常収益計		7,823,445
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
臨時雇賃金	0	
雑給	319,000	
人件費計	319,000	
(2) その他経費		
消耗品費	116,554	
業務委託費	5,790,000	
会議費	172,352	
印刷製本費	38,654	
旅費交通費	179,249	
通信運搬費	248,831	
地代家賃		
賃借料	191,060	
諸会費		
研修費	90,970	
支払手数料	46,184	
新聞図書費	2,003	
広告宣伝費	9,012	
雑費	27,459	
その他経費計	6,912,328	
事業費計		7,231,328
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給与手当	11,000	
人件費計	11,000	
(2) その他経費		

消耗品費	57,997		
業務委託費			
会議費	34,473		
印刷製本費	18,337		
旅費交通費	10,468		
通信運搬費	79,595		
地代家賃	273,879		
賃借料	67,090		
諸会費			
租税公課	3,200		
支払手数料	140,460		
新聞図書費	1,320		
研修費			
その他経費計	686,819		
管理費計		697,819	
経常費用計			7,929,147
当期経常増減額			-105,702
当期正味財産増減額			-105,702
前期繰越正味財産額			542,044
次期繰越正味財産額			436,342

※平成24年4月1日より前に開始した事業年度に係る事業報告書等の提出時には、従来どおり「収支計算書」を提出してください。

## 貸借対照表

令和3年6月30日現在

法人の名称 特定非営利活動法人 まちづくりエージェント SIDE BEACH CITY.

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	455,101		
未収入金	98,000		
流動資産合計		553,101	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
有形固定資産合計	-		
(2)投資その他の資産			
固定資産合計	-	-	
資産合計			553,101
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	85,559		
預り金	31,200		
流動負債合計		116,759	
2. 固定負債			
固定負債合計		-	
負債合計			116,759
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		542,044	
当期正味財産増減額		-105,702	
正味財産合計			436,342
負債及び正味財産合計			553,101

## 財産目録

令和3年6月30日現在

法人の名称 特定非営利活動法人 まちづくりエージェンツ SIDE BEACH CITY.

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手元現金	254,811	
横浜銀行普通預金	200,290	
未収金		
事業未収金	98,000	
流動資産合計		553,101
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		553,101
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	85,559	
預り金	31,200	
流動負債合計	0	116,759
2. 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		116,759
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		542,044
当期正味財産増減額		-105,702
正味財産合計		436,342
負債及び正味財産合計		553,101

## 年間役員名簿

前事業年度において役員であったことがある者全員の氏名及び住所又は居所並びに前事業年度における報酬の有無を記載した名簿

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人 まちづくりエージェント SIDE BEACH CITY.
--------------	--

役名	氏名	住所又は居所	前事業年度中の就任期間	報酬を受けた期間	備考
理事	山口 良介	横浜市緑区	令和2年7月1日～令和3年6月30日	なし	理事長
理事	志田 健一	横浜市保土ヶ谷区	令和元年2月1日～令和3年6月30日	なし	副理事長
理事	阿部 翔平	横浜市磯子区	令和元年2月1日～令和3年6月30日	なし	
監事	簡 憲幸	東京都中野区	令和元年2月1日～令和3年6月30日	なし	

# 2021（令和3年）年度事業計画書

2021（令和3）年7月1日～2022（令和4）年6月30日

法人の名称 特定非営利活動法人 まちづくりエージェンツ SIDE BEACH CITY.

## 1 事業活動方針

引き続き新しい生活様式に対応した、新しい地域活動・市民活動を支える情報技術支援を中心に、各団体と協働と支援を継続して参ります。当法人は3つの事業を展開しておりますが、ICTを横串に各事業はより密接に関わって来ています。コロナをきっかけにDXが加速し、地域や自治会、様々な団体、多様な生活者全般が、誰でも情報技術を活用、応用できるようにしたいと考え、事業を組み立てて参ります。

## 2 事業内容

### 「① 情報技術の活用支援に関する事業」

昨年度特需となったICT支援に関しては、ひと段落することが予想されますが、各区より単発の依頼などが複数入っている状況です。一つ一つをこなし、実績を積み重ねたいと思います。

#### 【受託事業】横浜市市民局地域活動推進課より受託

・内 容：「横浜市自治会町内会新しい活動スタイル応援事業」は、コロナ禍による「新しい生活様式」の中にあっても、地域の絆をつなぎ自治会町内会活動を継続していくため、ICTの活用をサポートする出張講座を希望自治体を実施する事業です。当法人では6地区を担当し、令和3年11月までに終了させる予定です。

- ・日 時：令和2年12月～令和3年度内。各自治会と日時を調整し随時実施。
- ・場 所：各自治会が指定する場所
- ・従事者人員：4人
- ・受益対象者：自治会長を中心とした受講希望者 各回5人～20人程度
- ・支 出 額：500,000円

#### 【協働事業】オンライン配信サポート事業

・内 容：地域団体、法人などのオンラインコンテンツ配信・オンライン講座の開催を運営面、技術面など含めサポートします。今年度はコンテンツ制作も積極的に行い、様々な規模に対し、的確なオンライン配信システムの選定などを行い、多面的な支援を実施していきます。

- ・日 時：各事業者と日時を調整し随時実施。
- ・場 所：各事業者が指定する場所
- ・従事者人員：2人
- ・受益対象者：ネット上不特定多数の方々及び事業者に関係するの方々（数千人規模と推測）
- ・支 出 額：500,000円

#### 【自主事業】オンラインコンテンツ配信事業

「SBC. オープンマイク (YouTube・Facebook ライブ番組配信事業)」

- ・内 容：SBC.に関わるの方々・Code for Japan ブリゲイドなどの地域事業に関わるの方々の活

動をご紹介する YouTube・Facebook ライブ番組を配信します。毎月 2 回、個人または団体に関わる方々をお招きし、現在の活動や今後に向けた想いを伺います。今後はサブチャンネルの開設なども含め、より一層多面的な展開を考えています。

- ・日 時：毎月 2 回放送。曜日・時刻はゲストの方々の都合にあわせて変動
- ・場 所：オンライン
- ・従事者人員：2 人
- ・受益対象者：ネット上不特定多数の方々

「SBCast. (ポッドキャスト配信事業)」

・内 容：地域活動・コミュニティ活動を紹介するポッドキャスト番組を放送。毎月 2 団体の方をお招きし、活動内容や活動に至った経緯、ご自身の想いについてのインタビューを実施します。そのインタビュー内容を編集し、まとめの音声を追加したものをポッドキャストとして配信します。

- ・日 時：毎月 2 回(第 2、第 4 金曜日 17 時)放送 収録は不定期
- ・場 所：オンライン
- ・従事者人員：1 人
- ・受益対象者：ネット上不特定多数の方々
- ・支 出 額：200,000 円

【協働事業】ホームページ運営サポート事業

・内 容：団体または法人のホームページに関する技術面及び運営面でのサポートを複数実施しました。地域貢献及び社会課題の解決のためのコンテンツ作成や、広報のための支援、SNS 運用などもトータルでサポートします。

- ・日 時：各事業者と日時を調整し随時実施。
- ・場 所：各事業者が指定する場所
- ・従事者人員：2 人
- ・受益対象者：ネット上不特定多数の方々及び事業者に関係するの方々。
- ・支 出 額：600,000 円

【協働・自主事業】ICT 活用講座・プログラミング講座の実施

・内 容：市民（団体含む）を対象とし、IT 化・IT の活用などに関するパソコン講座や、プログラミング講座、スマートフォン講座などを開催する活動。依頼されて開催する場合と自主的に開催する場合とあり、オンライン開催も含まれます。

- ・日 時：年間を通して不定期実施
- ・場 所：横浜市内の公共施設・貸会議室・地域のコミュニティ施設・依頼事業者の指定場所など。
- ・従事者人員：3 人
- ・受益対象者：一般市民・及び団体リアル延 100 人・オンライン延 500 人
- ・支 出 額：100,000 円

■①情報技術の活用支援に関する事業の総支出額：1,900,000 円

②地域における社会的課題の解決に関する事業

ア 地域交流に関する事業  
地域交流活性化事業に関して

【自主事業】地域活性交流会の開催支援

- ・内 容：地域における社会的課題の情報を共有する機会提供、地域課題を解決するコミュニティ拠点を支援する事業。拠点から依頼されて実施する場合と、自主的に当法人が実施する場合がありますが、コロナ対策をして実施していきます。
- ・日 時：不定期 計6回実施
- ・場 所：横浜市内のコミュニティカフェ・各団体の活動拠点、公的施設など。
- ・従事者人員：3人
- ・受益対象者：一般市民 延300人
- ・支 出 額：200,000円

【協働事業】地域起業拠点支援事業

- ・内 容：横浜市緑区にできた地域型ビジネスサポート拠点「まちなかbizみどり」の会員として引き続きサポートを実施しています。当団体の北部拠点としても活用しており、元となっている「まちなかbizあおば」との連携も深め、横浜市北部の地域起業家を増やすことにより街の活性化に寄与していきます。
- ・日 時：令和3年7月～随時
- ・場 所：横浜市緑区「まちなかbizみどり」
- ・従事者人員：2人
- ・受益対象者：横浜市緑区・青葉区を中心とした不特定多数の方々
- ・支 出 額：250,000円

【自主事業】SBC.Shop (SIDE BEACH COMMERCE)

- ・内 容：地域を支援するグッズを販売するプラットフォームとして、EC（通信販売）サイト、SBC.Shopをオープン・運営しています。横浜18区ブランディングプロジェクト（主に18区Tシャツ）の周知と、地域のためになるもの、地域を盛り上げるもの、地域課題を解決するものを基準として商品をセレクト、販売していきます。
- ・日 時：随時
- ・場 所：オンライン
- ・従事者人員：1人
- ・受益対象者：不特定多数
- ・支 出 額：50,000円

■ア地域交流に関する事業の総支出額 500,000円

イ 社会的課題解決のための中間支援に関する事業  
中間支援事業に関して

【協働事業】NPO法人元気になろう福島・NPO法人福島台湾経済文化交流協会との協働事業

- ・内 容：NPO法人元気になろう福島が、「令和3年度地域経済産業活性化対策費補助金（地域の伝統・魅力等発信支援事業）」の補助を受けて、福島の復興と、海外への風評被害払拭を目的に実施する事業を本年度も実施します。台湾の若者が福島の被災地を訪問、見学しライブ情報を発信します。当法人はホームページやSNSにおける情報発信のサポートをする予定です。
- ・日 時：令和3年10月～12月予定
- ・場 所：福島県内各所
- ・従事者人員：3人
- ・受益対象者：不特定多数・台湾の方々

・支 出 額：200,000 円

【協働事業】SDGs 推進支援事業「SBC.’s SDGs」

・内 容：東京都の中学校に通う中学生の課外授業の一環として、SDGs を実践する企業訪問を受ける予定です。緊急事態宣言下で実施延期が課題となっていますが、引き続き SDGs の啓蒙に励みます。

- ・日 時：令和3年7月～令和4年6月（継続実施随時）
- ・場 所：当団体指定の場所、及びインターネット上
- ・従事者人員：2人
- ・受益対象者：中学生20名・インターネット上の不特定多数の方々
- ・支 出 額：200,000 円

【協働事業】Code for HODOGAYA

・内 容：Code for Hodogaya は、当方人事業部とエージェントとの連携協働事業として結成され、Code for Japan ブリゲードの構成団体としても加盟しています。自主勉強会などを毎月開催し、バーチャル空間上のコミュニティスペースを活用し、今後も更なる活動の活性化に努めます。

- ・日 時：年度内活動随時
- ・場 所：都内会議室・オンライン上など
- ・従事者人員：2人
- ・受益対象者：インターネット上不特定多数の方々
- ・支 出 額：100,000 円

【自主事業】オープンデータに関する事業

・内 容：社会的課題の解決のための活動を行っている市民及び団体を対象とした中間支援及び社会的課題解決に関するオープンデータの活用に関するプラットフォーム(ウェブサイト等)の運用を行う。また、それらに関わる方々の情報配信事業や交流イベント・勉強会などの実施も行う。

- ・日 時：随時
- ・場 所：インターネット上
- ・従事者人員：3人
- ・受益対象者：
- ・支 出 額：100,000 円

■イ社会的課題解決のための中間支援に関する事業の総支出額：600,000 円

以上

## 活動予算書

令和3年7月1日から令和4年6月30日まで

法人の名称 特定非営利活動法人 まちづくりエージェント SIDE BEACH CITY.

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	300,000	
賛助会員受取会費	100,000	
受取会費小計		400,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	100,000	
受取寄附金小計		100,000
3. 受取助成金等	0	
受取助成金等小計		0
4. 事業収益		
①情報技術の活用支援に関する事業	1,200,000	
②地域の社会的課題解決に関する事業		
ア 地域交流に関する事業	300,000	
イ 社会的課題解決の中間支援事業	1,000,000	
事業収益小計		2,500,000
5. その他収益		
受取利息		
雑収益		
その他収益小計		0
経常収益計		3,000,000
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
臨時雇賃金	0	
雑給	500,000	
人件費計	500,000	
(2) その他経費	0	
消耗品費	150,000	
業務委託費	600,000	
会議費	150,000	
印刷製本費	50,000	
旅費交通費	200,000	
通信運搬費	200,000	
地代家賃	0	
賃借料	200,000	
諸会費	0	
研修費	100,000	
支払手数料	40,000	
新聞図書費	10,000	
広告宣伝費	0	
雑費	0	
その他経費計	1,700,000	
事業費計		2,200,000
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給与手当	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		

消耗品費	50,000		
業務委託費			
会議費	30,000		
印刷製本費	20,000		
旅費交通費	20,000		
通信運搬費	80,000		
地代家賃	300,000		
賃借料	50,000		
諸会費			
租税公課	10,000		
支払手数料	200,000		
新聞図書費	40,000		
研修費			
その他経費計	800,000		
管理費計		800,000	
経常費用計			3,000,000
当期経常増減額			-
当期正味財産増減額			-
前期繰越正味財産額			436,342
次期繰越正味財産額			436,342

※平成24年4月1日より前に開始した事業年度に係る事業報告書等の提出時には、従来どおり「収支計算書」を提出してください。